

資 材 内 訳

令和7年度桑木地区外森林環境保全整備事業(保育間伐活用型外)【R7補正翌債・強靭化】
桑木国有林553号林小班外

林小班	伐採種	林齡 伐採率	(区域面積) 実行面積	樹種	立木			生産予定 材積	委託 販売	システム1	システム2	システム3	備考		
					類別	本数	材積			一般A	一般B	低質材			
568は	間 伐 (列状)	57年生 29%	(6.76) 4.46	ヒノキ	一般材	2,155	691.79	480	50	0	230	200	保育間伐 (活用型) (1伐3残)		
					低質材										
					小計	2,155	691.79								
553は	間 伐 (列状)	51年生 27%	(4.78) 4.78	ヒノキ	一般材	1,518	660.57	470	50	0	220	200	保育間伐 (活用型) (1伐3残)		
					低質材	66	8.55								
					小計	1,584	669.12								
553ろ	間 伐 (列状)	58年生 28%	(0.88) 0.88	ヒノキ	一般材	291	175.21	120	10	0	70	40	保育間伐 (活用型) (1伐3残)		
					低質材										
					小計	291	175.21								
553ろ	間 伐 (列状)	58年生 35%	(3.33) 3.33	スギ	一般材	1,281	1,889.22	1,230	90	0	670	470	保育間伐 (活用型) (1伐3残)		
					低質材										
					小計	1,281	1,889.22								
保育間伐(活用型) 計			(15.75) 13.45		一般材	5,245	3,416.79	2,300	200	0	1,190	910	保育間伐 (活用型) (1伐3残)		
					低質材	66	8.55								
					計	5,311	3,425.34	2,300	200	0	1,190	910			
生産 合計			(15.75) 13.45		一般材	5,245	3,416.79	2,300	200	0	1,190	910	保育間伐 (存置型)		
					低質材	66	8.55								
					合計	5,311	3,425.34	2,300	200	0	1,190	910			
553い2	間 伐 (定性)	49年生 34%	(3.35) 3.35	ヒノキ		1,468	493.73						保育間伐 (存置型)		
					小計	1,468	493.73								
553い3	間 伐 (定性)	38年生 34%	(3.18) 3.18	ヒノキ		2,916	366.17						保育間伐 (存置型)		
					小計	2,916	366.17								
553い4	間 伐 (定性)	35年生 34%	(4.53) 4.53	ヒノキ		4,143	521.55						保育間伐 (存置型)		
					小計	4,143	521.55								
保育間伐(存置型)計			(11.06) 11.06			8,527	1,381.45	0	0	0	0	0	保育間伐 (存置型)		
					計	8,527	1,381.45	0	0	0	0	0			

単位工程別内訳書

事業箇所	材種	単位工程	予定数量	備 考
568は外	立木	全 木 伐 倒	3,425 m ³	(立木材積) 存置型を含まない
	素材	プロセッサ造材	2,300 m ³	
		フォワーダ集運材	2,300 m ³	
		フォワーダ運材	1,670 m ³	御殿場第1・第2土場
		トラック運材 山元巻立	430 m ³	深沢第1土場
		素材検知 (山元巻立の内、一般材)	1,190 m ³	木口表示・野帳記入 本数突合・白帯塗布
		素材検知 (山元巻立の内、低質材)	910 m ³	層積検知・野帳記入 白帯塗布

(注) 1, 備考欄に指定中間検査場所を記入する。

2, 単位工程の一部に特殊な作業を含むときはその作業名、予定数量等を説明する。

(例) 剥皮・薬剤散布、軽油・薬剤等の支給など

完了検査場所内訳書

材 種	検査場所	完了予定数量	備 考
一般材	御殿場第1・第2土場 深沢第1土場	1,190 m ³	
低質材	〃	910 m ³	
一般材	原木市場	200 m ³	委託販売用一般材

事 業 条 件 調 書

事業名:令和7年度桑木地区外森林環境保全整備事業(保育間伐活用型外)【R7補正翌債・強靱化】

静岡森林管理署

物件番号 (単位)	林小班	伐採種 伐採率 %	(区域面積) 実行面積 ha	樹種	林齡 年	立木(資材)				生産量(素材)		作業条件								備考				
						本数	材積 m ³	平均胸高 cm	平均樹高 m	平均单木材積 m ³	生産量 m ³	利用率 (歩止り) %	事業地				伐倒方法	集材方法		完了地点別内訳				
													林地傾斜	作業難易	ヒノキ枝払難易度	通勤距離車・片道km		集材方法	平均集運材距離m	山元m ³	最終m ³	合計m ³		
1	568は	間伐	29%	4.46	ヒノキ	57	2,155	691.79	24	14	0.32	480	69	31	中	中	10.0	列状	フォワーダ	184	430	50	480	列状 1伐3残
	553は	間伐	27%	4.78	ヒノキ	51	1,584	669.12	28	14	0.42	470	70	27	中	中	9.2	列状	フォワーダ	994	420	50	470	
	553ろ	間伐	28%	0.88	ヒノキ	58	291	175.21	30	18	0.60	120	68	22	中	中	7.7	列状	フォワーダ	180	110	10	120	
	553ろ	間伐	35%	3.33	スギ	58	1,281	1,889.22	42	24	1.47	1230	65	22	中	中	7.7	列状	フォワーダ	180	1140	90	1,230	
	553い2	間伐	34%	3.35	ヒノキ	49	1,468	493.73	24	14	0.34			22	中		9.2	定性					定性 存置型 林内整理	
	553い3	間伐	34%	3.18	ヒノキ	38	2,916	366.17	14	11	0.13			27	中		9.2	定性						
	553い4	間伐	34%	4.53	ヒノキ	35	4,143	521.55	14	12	0.13			27	中		7.7	定性						
合計				24.51			13,838	4,806.79			0.35	2,300								2,100	200	2,300		

※1 予定価格算出基礎の一部を示すものであり、技術提案の内容によっては、本条件調書と合わない場合がある。

※2 本条件調書の内容と現地が一致しない場合は現地を優先する。

※3 生産量合計は、四捨五入の関係で資材内訳等とは一致しない。